

CO-OP

三重の生協の
今を伝える

みえの虹

No.134

2025年1月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

あけまして おめでとうございます。

今年度2024年、三重県生協連合会は創立50周年を迎えました。三重県や各行政、県内の関係各位、全国の生協の仲間や会員生協の皆様にご感謝申し上げます。12生協でスタートしましたが、現在、7生協でのべ45万世帯が加入し、世帯の60%を超える組織となりました。

50周年を祝うため検討をすすめ、組合員や関係する皆さんが参加して、楽しむとともに、考え合うことができる企画開催をすすめています。

2025年は、国際協同組合年となります。多様な人々の参加や多様な組織との連携を深め、地域社会に貢献を高め、SDGsや平和と核兵器廃絶への取り組み、自然災害への積極的対応をするため一層努力してまいります。

これからの三重県の生協運動を発展させるために、県生協連合会の役割を果たすとともに、よりよい生活と平和をめざし、生協らしく助け合って、協力し合って、地域共生社会を広めるために努力していきます。



三重県生活協同組合連合会 会長理事 茂木 穰

「三重県生協連50周年記念事業」をすすめています

活動報告

『三重県生活協同組合連合会創立50周年記念誌』を発行しました

三重県生協連の50年間の活動と歩みを未来へ伝える記念誌として、『三重県生活協同組合連合会創立50周年記念誌』を発行しました。

創立50周年記念誌は、三重県生協連の半世紀にわたる活動の上で、ご協力いただいた諸団体や関係者の皆様へ、進呈させていただきました。

なお、三重県生協連ホームページからご覧いただけます。

三重県生協連はこれまでの取り組んできたことを大切に受け継ぎ、未来へ活動を進めてまいります。



ホームページ



活動報告

「50周年記念動画」を作成しました

「三重県生協連 50周年これまでの歩み」の動画をYouTubeに掲載しました。三重県生協連のこれまでの活動を、写真等の画像とともにご紹介しております。こちらからホームページからご視聴いただけます。

誌面では載せきれない三重県生協連の50年間の、ぜひ動画でご覧ください。



YouTube



一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえ

みえ医療福祉
生活協同組合

三重県学校
生活協同組合

三重大学
生活協同組合

三重短期大学
生活協同組合

三重県立看護大学
生活協同組合

三重県労働者共済
生活協同組合

50周年記念事業

おかげさまで、三重県生活協同組合連合会は創立50周年を迎えました

50周年記念事業として、会員生協や組合員とともに歩んできた50年を振り返り、到達点を確認め合い、ともに喜びあえるイベントを開催いたしました

「ピアノとチェロのコンサート&音楽朗読劇『くじらのこえ なみのこえ』」

2024年11月9日(土)津市のアストホールでピアノとチェロのコンサート&音楽朗読劇『くじらのこえ なみのこえ』を開催しました。

第1回公演(13:30分開演)、第2回公演(16:30分開演)ともに会員生協組合員や役職員で会場はほぼ満席になりました。

前半のコンサートでは、ホール中に響き渡る、崔善愛(チェソソ工)氏のピアノと三宅進氏のチェロの優しい音色と美しい調べに酔いしれ、後半の音楽朗読劇では、斉藤とも子氏と辻輝猛氏が演じる、南の海で起きたマグロ漁船の漁師さんとクジラやイルカたちの物語に心引き込まれ、じっと耳を傾けました。

コンサートと音楽朗読劇を通して、この地球で共に生きる私たちや生き物のかけがえのない命の尊さと、平和の大切さについて確かめ合う機会になりました。



ピアノとチェロのコンサート



音楽朗読劇



第五福竜丸の模型

「国連原爆展 in MieMu (三重県総合博物館)」

11月22日(金)~24日(日)津市の三重県総合博物館(MieMu)の交流展示室で「国連原爆展 in MieMu」を開催し、3日間で約700人の来場がありました。

会場にはニューヨークの国連本部のロビーで日本被団協が展示した49枚全てのパネルを展示しました。また三重県にゆかりのある第五福竜丸の船の模型と、東京都立第五福竜丸展示館のパネルの展示も行いました。

原爆を始めとした核兵器の恐ろしさや当時の実相や、被爆者の体験や思い、勇気をもって核兵器廃絶の声を上げ続けてきた人々の活動や、核をめぐる世界の動きなどが紹介されたパネルの前で、足をとめてじっと見入る来場者の姿がありました。

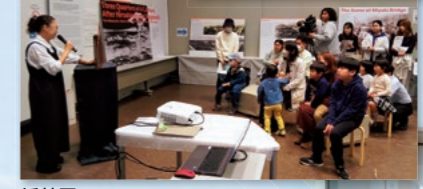
期間中は、三重県原爆被災者の会(三友会)の山口 詔利会長の講演の他、朗読リレーや絵本の読み聞かせ、紙芝居などといった特別企画も行われました。来場いただいた方には、争いのない平和な世界を求め続けることがいかに重要であるか、ひととき考えていただく機会となりました。



会場の様子



山口会長による講演



紙芝居「わしのだいじなふね第五福竜丸」



第五福竜丸の展示

SDGsアクションプラン に関わる活動報告

Planet (地球)

県内一斉海浜清掃

三重県協同組合連絡協議会(MJC)の一員として、7月6日(土)に開催された三重県漁業協同組合連合会主催の県内一斉海浜清掃に、今年も20名が参加しました。



エシカル消費の普及を進めました



ワンコインコンサート

7月25日(木)国際協同組合デー記念「ワンコインコンサート」にブース出展しました。

消費者月間ブース出展

5月19日(日)三重県「三重県消費者月間記念講演会」にブース出展しました。

JA三重大会ブース出展

11月29日(金)「第45回JA三重大会」にブース出展しました。

Peace (平和)

ハート平和行進

2024年6月14日(金)「2024年ハート平和行進」を開催しました。

東海のピースリレーは5月に静岡県から愛知県へ、6月に愛知県から岐阜県へと引き継がれ、14日(金)津市のお城西公園で岐阜県から三重県へと引継ぎ会が行われました。

引継ぎ会後は、合流した国民平和行進のみなさんとともに、横断幕や黄色い風船をかかげ、笑顔で沿道の人たちに「核兵器をなくそう」「平和の世界を!」と呼びかけながら、国道23号線沿いに北上し、三重県勤労者福祉会館まで元気に行進しました。

ピースアクションin ヒロシマ

2024年8月4日~5日に開催された2024ピースアクションinヒロシマに、三重県生協連から2名が参加しました。

広島で、被爆の実相について見聞きし、肌で感じ、平和の大切さと次世代へいかに伝えていくかについて、全国の仲間と交流しました。



Partnership (パートナーシップ)

三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」の開講

今年も10月から三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」が開講しました。1月末までの全15講義となります。

2016年の開講から8年間で513人の学生が受講し、2024年度は85名の登録がありました。三重県協同組合連絡協議会(MJC)や、日本協同組合連携機構(JCA)、NPO法人 地域と協同の研究センター、日本生活協同組合連合会、日本コプ共済生活協同組合連合会等にご協力をいただき、協同組合の広がりや発展に向けた協同組合間協同での取り組みにもなっています。

学生は講義を通して協同組合の役割や意義を知り、それぞれの協同組合の事業と社会的課題に向きあう活動を学ぶことで、現代社会の諸問題について考え、みずから生きる未来の課題について、検討しています。



生協間連帯による合同インターンシップ

「三重大学生協×生協コープみえ コラボオープン・カンパニー」の開催

9月26日(木)三重大学構内で、三重大学生を対象にコラボオープン・カンパニーが開催されました。

午前は、三重大学の食堂や購買などといった学生生活の上で身近な大学生協について説明があり、次いで地域生協であるコープみえからは、組合員の声が生協の商品や活動を動かしてきたことや、事業活動についての紹介がありました。

午後からのグループワークでは、グループごとに学生ならではの視点でアイデアを出し合い、熱心に議論を交わし、与えられたテーマに取り組みました。



~三重県生活協同組合連合会は、今後も会員生協や地域の諸団体のみなさまと共に、よりよい暮らしの実現にむけて取り組みを進めてまいります~

「令和6年度能登半島地震及び能登豪雨災害募金」へ送金しました

令和6年（2024年）9月21日に石川県能登半島を中心に豪雨災害が発生し、被災地では甚大な被害が発生しています。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

三重県生協連では、能登半島地震の被災者・被災地を支援するための「令和6年能登半島地震」災害募金として3月に10万円の送金を行いました。今回の豪雨被害へのご支援になればと、日本生協連の「令和6年度能登半島地震及び能登豪雨災害募金」の呼びかけに対して、新たに10万円の支援募金をお送りいたしました。

三重県生協連は、被災地の一日も早い復興を願い、できる限りのご支援を継続してまいります。

お知らせ

三重県 食の安全・安心研修会 「わかりやすく学ぶ 健康食品(サプリメント)や機能性表示食品、 トクホの違いと、カラダへの影響」開催の案内

食の安全・安心をテーマとした研修会を、三重県との共催で開催します。

今年は、畝山 智香子氏を講師にお招きし、健康食品（サプリメント）やトクホなどの保健機能食品についての学習会を開催いたします。身の回りにさまざまな種類があふれ、誰でも手軽に購入できる健康食品ですが、医薬品、特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品、機能性表示食品などとの違いや安全性について、一緒に学びましょう。

- 日時** 2025年1月25日（土）10:30～12:20（受付10:00～）
- 場所** アスト津 4F 研修室A 三重県津市羽所町700
またはWeb会議室システム（Zoom）
- 講師** 畝山 智香子氏（公益社団法人日本食品衛生協会 学術顧問）
- 募集人数** 会場50人、Zoom100人
- 主催** 三重県、三重県生活協同組合連合会
- 参加申し込み** <https://form.os7.biz/f/60333866/>（三重県生協連）
1月10日（金）締切（参加費無料）



▲お申込み

参加費無料
わかりやすく学ぶ
健康食品(サプリメント)や
機能性表示食品、トクホの違いと、
カラダへの影響

今年、私たちは食生活に関わる健康食品(サプリメント)を、食品の利便性を高めるために販売するようになった。健康食品が普及することで、健康を人も多く取り戻す。

しかし、中には健康食品は、医薬品とどう違うのか、安全な健康食品は、どのようなものか、栄養機能食品、機能性表示食品などとの違いや安全性について、一緒に学びましょう。

研修会では、健康食品の安全性について学びます。

研修会のポイント!

- 1 正しい知識を学ぶ
- 2 安全な食品への関心
- 3 科学的根拠への影響を学ぶ
- 4 特定保健用食品(トクホ)、栄養機能食品、機能性表示食品とは

◆お申し込みはインターネットまたは、FAXにてお申し込みください。
2025年1月10日（金）まで受付 <https://form.os7.biz/f/60333866/>

主催 三重県生活協同組合連合会 TEL:059-226-9911

お知らせ

「3.15 さようなら原発三重パレード2025」開催の案内

三重県生協連は、2030年に向けたSDGsアクションプランにおいて、再生可能エネルギーの推進と、原発に頼らないエネルギー政策を求めて取り組んでいくことにしています。今年度も「3.15 さようなら原発三重パレード2025」に賛同団体として参加させていただき、原発に頼らないエネルギー政策を求めていきます。

さようなら原発三重パレードとは、2011年の福島第一原発での事故をきっかけに、脱原発を求める方々が津市に集結し、2013年から毎年3月に集会とパレードを開催しています。

ぜひ講演会やパレードへご参加ください。

3.15 さようなら原発三重パレード2025

- 日時** 2025年3月15日（土）13:00～16:00
- 場所** 三重県総合文化センター（多目的ホールと広場）
三重県津市一身田上津部田1234
- 内容** 講演会（13:00～）、パレード（15:30～）



昨年のパレードの様子